

東大病院先端医療開発部局合同シンポジウム開催レポート

平成 23 年 12 月 17 日（土）、東京大学医学部鉄門記念講堂において、東大病院先端医療開発部局合同シンポジウムが開催いたしました。当院では、先端医療開発研究を目的とした多彩な取り組みが進められています。今回、先端医療開発研究に携わる 22 世紀医療センター、医工連携部、ティッシュ・エンジニアリング（TE）部が、シンポジウムを通じて部局間の連携を深めるとともに、その多彩な取り組みを広くアピールすることを目的として共同でシンポジウムを開催しました。

東大病院には、トランスレーショナルリサーチ（TR）センターや臨床研究支援センターが、このような活動を支える基盤として整備されており、また、CMSI 東京大学 GCOE プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション」は、人材育成プログラムの 1 つとしてその活動を支援しています。このような多くの組織が共催としてシンポジウムを企画しました。

シンポジウムの前半は TR センター長の永井良三教授と新しく東大病院に設置される厚生労働省「早期・探索臨床試験拠点整備事業」の拠点（精神・神経領域）リーダーである岩坪威教授、臨床研究支援センターの荒川義弘准教授が東大病院における研究基盤とサポート体制に関して講演されました。CMSI 東京大学 GCOE プログラムの片岡一則拠点長からはその活動と、新たなリーディング大学院構想に関する講演がなされました。また高戸毅 22 世紀医療センター長・TE 部部長と、宮田哲郎医工連携部部長から、その活動が紹介されました。22 世紀医療センター、医工連携部、TE 部に所属する講座、プロジェクト、研究グループが、相互に交流を深め活動を活性化することを目的に、部局を横断してテーマ別に 43 のポスター発表を行い、活発な討議を行いました。

シンポジウムの後半は「再生医療・細胞医療の早期実用化にむけた開発戦略」をテーマに、「アカデミア」の立場から、東京女子医大先端生命医科学研究所長の岡野光夫教授、「産」の立場から（株）ジャパンティッシュエンジニアリング小澤洋介社長、（株）セルシード長谷川幸雄社長、「官」の立場から PMDA の三宅真二上席審議役と厚生労働省医政局研究開発課の谷伸悦 再生医療研究推進室長からの特別講演がなされました。また、「再生医療の研究開発」に関して「企業-アカデミア-PMDA-厚生労働省」のそれぞれの立場から、その取り組みや動向などについて意見を交換する活発な討論がなされました。

シンポジウムへの事前参加登録者数 342 名、当日の参加者数 318 名と昨年度以上の盛会となりました。また、シンポジウム後の情報交換会には特別講演の演者の先生に加えて 68 名が参加され、熱い議論が続きました。本シンポジウムが、再生医療にかぎらず、医療における科学技術の推進、および医薬品・医療機器・医療技術の研究開発、そしてその成果の社会的な受け皿である医療産業の振興に尽力し、新たな医療システムの構築に向け社会に発信するための第一歩となることを希望しています。

